

「朱鷺国際フォーラム（洋県）宣言」（日本語訳）

2018年は、中日平和友好条約締結40周年、中韓戦略的協力パートナーシップ確立10周年、更には中日韓首脳会議単独開催10周年であります。紆余曲折を経て、三カ国の関係は健全、良好かつ正常な軌道に戻り始めました。北東アジア地域、特に中・日・韓三国における地域間協調と協力の強化が急務となっている今、朱鷺を友好の絆とし、地方政府間の協力と民間の友好交流を着眼点とする第1回朱鷺国際フォーラムは、2018年5月22日から24日にかけて、朱鷺の故郷——陝西省漢中市洋県で開催されました。

中国人民対外友好協会、陝西省人民政府の承認を得て、今回のフォーラムは、中国人民対外友好協会、日中協会、韓中文化友好協会の主催、陝西省人民対外友好協会、陝西省林業庁、漢中市政府、華商メディアグループの運営、そして中日韓三国協力事務局、北東アジア地域自治体連合、中韓文化青少年協会の共催により行われました。

今回のフォーラムには、中国、日本、韓国、ロシアの4カ国から地方政府、友好団体、朱鷺保護機構と専門家、文化人、マスコミ、企業、貿易機関、並びに関連する国際組織の代表ら、計300人余りが参加しました。フォーラムのテーマは「朱鷺が縁で共に未来を創ろう」であり、参加者の方々は、朱鷺の保護、地方政府間協力、民間友好交流、文化観光、農業、経済貿易等、多岐にわたり議論を行い、意見を交わし、十分な意思疎通と対話を通じて、共通認識を拡大し、協力を強化し、積極的な成果を上げました。

朱鷺は北東アジア、とりわけ中日韓三国間のもう一つの共通話題、友好の媒体と協力の着眼点であり、朱鷺を友好の絆とし、北東アジア、特に中日韓の地方政府間協力と民間友好交流を更に深化する条件はほぼ成熟したと我々は考えています。

我々は、朱鷺を保有する地方政府を切り口とし、関連する友好都市を拡大し、点から面へと広げ、友好都市の交流と協力を深化し、北東アジアと中日韓三国の地方政府協力の新たなルートを積極的に検討し、そして協力の新たなブランドを作り上げることを期待しています。

更には、この度の朱鷺国際フォーラムを官、産、学そして国際組織、社会機構、メディア、文化界等の共同参加による地方政府と各界組織と対話できる開かれたプラットフォームとし、情報を交換し、周知を集めて、中日韓と北東アジア地域の経済社会の発展計画を話し合うことを期待しています。

我々は、次のことを着眼点とし、協力を深化し、ウィン・ウィンの発展を実現するよう努力いたします。

- ① 朱鷺国際フォーラムの継続的開催を支持し、朱鷺国際フォーラムをプラットフォームとし、常態化したコミュニケーションと対話メカニズムを構築します。
- ② 朱鷺を保有する地方政府間の各種交流と協力を更に強化します。お互いにPR窓口と産業推進窓口の開設を促進します。
- ③ 地方政府、関連機構・組織の積極性を発揮し、絶えず協力分野を拡大します。初期段階においては、観光、農業、文化と青少年交流からスタートし、行動計画を作成することが考えられます。
- ④ 関連する研究と教育機構の設立を促進します。
- ⑤ 世界の各環境保全組織・団体、関連する国際組織、北東アジア地域と中日韓の各友好都市、友好機構、ビジネス団体、文化団体と緊密に連絡を取り合い、絶えず仲間を増やします。

我々は、今回のフォーラムの持続的な開催により、北東アジア、特に中日韓三国の地方政府間協力と民間友好交流において、積極的な影響が生じることを確信しています。我々は、同フォーラムをプラットフォームとして、引き続き実務的協力を推進し、国民の心が通じ合うことを実現し、朱鷺が縁で、共に美しい未来を創るよう絶えず努力していきます。